

西本願寺

経文を掲載しております。大切にお取り扱いください。



御三記 報恩講 法要 2021 《令和3年》

表紙画/中川孝 『御絵伝』洛陽遷化より



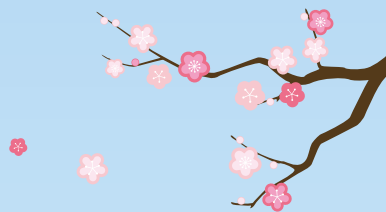
本願寺 全体図

■諸注意
防災センター【直通：075-371-5191】
 ・気分が悪くなったり、けがをされた時
 ・落し物を拾われた時、落し物をされた時
 ・不審者・不審物を発見された時
 最寄りの係員、または防災センターまでご連絡ください。

- = 車椅子対応施設 (北境内地に1ヶ所)
- = 車椅子対応エレベーター
- = オーストメイト対応トイレ(多目的トイレ)
- = AED(自動体外式除細動器)設置場所
- = 授乳室
- = 喫茶・食事処
- = Wi-Fi電波受信建物
- = 喫煙所 (北境内地に1ヶ所)
- = 車椅子対応エレベーター
- = オーストメイト対応トイレ(多目的トイレ)
- = AED(自動体外式除細動器)設置場所
- = 授乳室
- = 喫茶・食事処
- = Wi-Fi電波受信建物

※P.11・12に法要・行事等の詳細を記した境内案内図を掲載しておりますので、そちらも併せてご参照ください。

恩徳讃



目次

恩徳讃	1
ご挨拶 〈浄土真宗本願寺派総長 石上 智康〉 〈本願寺執行長 武田 昭英〉	3
「私たちのちかい」についてのご親教	5
親鸞聖人御誕生八百五十年 立教開宗八百年 についての消息	7
御正忌報恩講法要 全日程表	9
御正忌報恩講法要 境内案内図	11
法要日程（9日～16日）	13
お 斎	14
御法楽献詠入選歌	18
通夜布教（15日）	22
御正忌報恩講法要期間中の関連行事	23
親鸞聖人のご生涯〈御絵伝解説〉	28
御正忌報恩講勤行集（参拝者用）	37
目次	38
領解文／報恩講の歌	96
2021（令和3）年 本願寺の法要行事日程	97
御正忌報恩講法要期間中の仏華	98

2021（令和3）年 御正忌 報恩講 法要

報恩講は、親鸞聖人のご遺徳を偲び、そのご苦労を通じて、阿弥陀如来のご本願によるお救いをあらためて心に深く味わわせていただく法要です。

親鸞聖人の三十三回忌のご法要にあたり、本願寺第三代覚如上人がそのご遺徳を讃仰するため『報恩講私記』をご制作になられ、以来、聖人のご命日の法要は報恩講として、大切にお勤めされてきました。

本願寺第八代蓮如上人がお示しのとおり、正しくお念仏のいわれを聞かせていただき、身にいただくことが聖人の御恩に報いる道です。

報恩講は、一月九日から十六日までお勤めいたしております。お念仏の道をお示しいただいた親鸞聖人のご遺徳を偲ばせていただき、お念仏に遇えた喜びをこの身に受け、共々にお念仏申しましょう。

ごしょうき ほう おん こう ほう よう

御正忌報恩講法要をお迎えして

浄土真宗本願寺派総長

石上

智康

本願寺執行長

武田

昭英

皆さまには、厳しい寒さのなかようこそご参拝くださいました。

「御正忌報恩講法要」は浄土真宗のみ教えをいただく私たち念仏者にとって、最も大切なご法要です。ご法要をご縁に改めて宗祖親鸞聖人のご遺徳を偲び、お念仏に遇わせていただいているご恩に感謝し、報恩感謝の生活を送らせていただきましょう。

昨年より新型コロナウイルス感染症が世界中に拡大し、私たちを取り巻く環境は大きく変化したしました。この度の法要におきましても、ご参拝の皆さまの安全を考慮し参拝席を限定、ソーシャルディスタンスを確保するなどの対策を講じております。ご参拝の皆さまには大変ご迷惑をお掛けいたしますが何卒、感染予防対策にご理解・

ご協力くださいますようよろしくお願い申し上げます。

さて、親鸞聖人が生きられた時代は、戦乱や天災地変が相次ぎ、多くの人びとが世の無常を痛感させられ、生きる意味を問い、救いの道を真剣に求めた時代でした。そうした中で聖人は、阿弥陀如来のご本願によって生死出ずべき道をめぐまれ、真実信心ひとつで救われる浄土真宗のみ教えを明らかにされました。

宗門・本山では協力体制のもと来たる令和五年にお勤めする「親鸞聖人御誕生八百年・立教開宗八百年慶讃法要」に向け準備を進めており、このたびスローガンが「ご縁を慶び、お念仏とともに」と決まりました。この尊いご勝縁に向けて、親鸞聖人が明らかにされた浄土真宗のみ教えに遇い得たことを喜び、み教えを一人でも多くの方にお伝えし、自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献するため、精いっぱい努めさせていただきます。

合掌

「私たちのちかい」についてのご親教

私は伝灯奉告法要の初日に「念仏者の生き方」と題して、大智大悲からなる阿弥陀如来のお心をいただいた私たちが、この現実社会でどのように生きていくのかということについて、詳しく述べさせていただきました。このたび「念仏者の生き方」を皆様により親しみ、理解していただきたいという思いから、その肝要を「私たちのちかい」として次の四カ条にまとめました。

私たちのちかい

一、ひとつ 自分の殻からに閉じこもることなく

おだ 穏やかな顔と優しい言葉ことばを大切にします
はほえ 微笑み語りかける仏さまのように

一、ひとつ むさぼり、いかり、おろかさに流ながされず

しなやか しなやかな心と振る舞いふまを心がけます
こころやす 心安らかな仏さまのように

一、ひとつ 自分だけを大事だいじにすることなく

ひと 人と喜びや悲しみを分かち合あいます
じひ 慈悲に満ちみちた仏さまのように

一、ひとつ 生いかされていることに気づき

ひび 日々ひびに精一杯せいいつぱいつとめます
ひと 人びとの救いすくに尽くす仏さまのように

この「私たちのちかい」は、特に若い人の宗教離れが盛んに言われております今日、中学生や高校生、大学生をはじめとして、これまで仏教や浄土真宗のみ教えにあまり親しみのなかった方々にも、さまざまな機会で唱和していただきたいと思っております。そして、先人の方々が大切に受け継いでこられた浄土真宗のみ教えを、これから広く伝えていくことが後に続く私たちの使命であることを心に刻み、お念仏申す道を歩んでまいりましょう。

二〇一八（平成三十）年十一月二十三日

浄土真宗本願寺派門主 大谷 光 淳

※このご親教は、二〇一八年「秋の法要」にてお示しくございました。

親鸞聖人御誕生八百五十年について の消息 立教開宗八百周年

来る二〇二三年には、宗祖親鸞聖人のご誕生八百五十年、また、その翌年には立教開宗八百年にあたる記念すべき年をお迎えするにあたり、二〇二三年に慶讃法要をお勤めいたします。

親鸞聖人は承安三年・一一七三年にご誕生となり、御年九歳で出家得度され、比叡山で修行を重ねられましたが、二十九歳の折、山を下りて法然聖人の御弟子となられ、阿弥陀如来の本願念仏の世界に入られました。その後、専修念仏停止によって越後にご流罪になられ、赦免の後には関東に赴かれて他力念仏のみ教えを人々に伝えられるとともに、『教行信証』の執筆にとりかかられました。他力念仏のみ教えがまとめられた本書は、浄土真宗の根本聖典という意味でご本典と呼ばれています。そして、そのご本典の記述によって、その成立を親鸞聖人五十二歳の時、すなわち元仁元年・一二二四年とみて、この年を立教開宗の年と定めています。

仏教は今から約二千五百年前、釈尊が縁起や諸行無常・諸法無我というこの世界のありのままの真実をさとられたことに始まります。翻って私たちは、この執われのなにおさとの真実に気づくことができず、常に自分中心の心で物事を見て、悩み、悲しみ、あるいは他人と争ったりしています。釈尊は、このような私たちをそのままに

救い、おさとの真実へ導こうと願われたのが阿弥陀如来であることを教えてくださいました。そして、親鸞聖人は、この阿弥陀如来の願いが、南無阿弥陀仏のお念仏となつてはたらく続けてくださっていることを明らかにされたのです。

ありのままの真実に基づく阿弥陀如来のお慈悲でありますから、いのちあるものすべてに平等にそそがれ、自己中心的な考え方しかできない煩惱具足の私たちも決して見捨てられることはありません。その広大なお慈悲を思うとき、親鸞聖人が「恥づべし傷むべし」とおっしゃったように、阿弥陀如来のお心とあまりにもかけ離れた私たちの生活を深く慚愧せざるをえません。しかし、この慚愧の思いは、阿弥陀如来の悲しみを少しでも軽くすることができればという方向に私たちを動かすでしょう。

それは、阿弥陀如来の願いを一人でも多くの人に伝え、他人の喜び悲しみを自らの喜び悲しみとするような如来のお心になう生き方であり、また、世の安穩、仏法弘通を願われた親鸞聖人のお心に浴う生活です。み教えに生かされ、いよいよお念仏を喜び、すべてのいのちあるものが、お互いに心を通い合わせて生きていけるような社会の実現に向け、宗門総合振興計画の取り組みを進めながら、来るべき親鸞聖人ご誕生八百五十年ならびに立教開宗八百年の慶讃法要をともにお迎えいたしましょう。

平成三十一年 一月九日
二〇一九年

龍谷門主 釋 専 如

5:00	5:00	5:00	5:00	5:00	5:00	5:00	5:30	開門				
17:00	19:30	17:00	17:30	17:00	17:00	17:00	17:00	閉門				
16日(土)	15日(金)	14日(木)	13日(水)	12日(火)	11日(月・祝)	10日(日)	9日(土)	場所	行事	時間	法要	
大経(讃佛偈) 正信偈 (真譜)	大経(讃佛偈) 礼讃(日中偈)	大経(讃佛偈) 礼讃(晨朝偈)	大経(讃佛偈) 礼讃(後夜偈)	大経(讃佛偈) 礼讃(中夜偈)	大経(讃佛偈) 礼讃(初夜偈)	大経(讃佛偈) 礼讃(日没偈)		御影堂	勤行	6:00～	晨朝	
	○	○	○	○	○	○			帰敬式	晨朝後		
	福間 義朝 師	福間 義朝 師	福間 義朝 師	宮部 誓雅 師	宮部 誓雅 師	宮部 誓雅 師		総会所	常例布教	8:10～ 20分間		
福間 義朝 師	福間 義朝 師	福間 義朝 師	福間 義朝 師	宮部 誓雅 師	宮部 誓雅 師	宮部 誓雅 師		御影堂	御堂布教	9:30頃～ 15分間		
報恩講作法 (御満座)	五会念佛作法	正信念佛偈作法 第三種	二門偈作法	奉讃大師作法	宗祖讃仰作法	二門偈作法	★A	御影堂	法要	10:00～	日中	
	山口 紫紀 師 ※手話通訳有	園淵 龍雨 師	津守 秀憲 師	坂上 晃順 師	徳永 一道 師			総会所	特別講演	11:10～ 40分間		
	★C	○	○	○	○	※10日は 12:30～のみ		湧書院	お斎	日中法要後 12:00～		
※16日のみ 13:30～	○	○	○	○	○	○	○		帰敬式	13:00～		
				★B				御影堂	御堂布教	13:30頃～ 15分間		
	福間 義朝 師 ※手話通訳有	福間 義朝 師	福間 義朝 師	福間 義朝 師	宮部 誓雅 師	宮部 誓雅 師	宮部 誓雅 師		法要	14:00～	速夜	
	広文類作法	大師影供作法	宗祖讃仰作法 (音楽法要)	浄土法事讃作法	正信念佛偈作法 第三種	奉讃大師作法	大師影供作法			速夜法要に 引き続き		
	ご門主様ご親教 ※手話通訳有	御俗姓拝読										
	★D											
	※15日のみ 18:00～ 正信偈(斎) 改悔批判 正信偈(非時)	正信偈(斎) 改悔批判 正信偈(非時)	正信偈(斎) 御伝記拝読 正信偈(非時)	正信偈(斎) 改悔批判 正信偈(非時)	正信偈(斎) 改悔批判 正信偈(非時)	正信偈(斎) 改悔批判 正信偈(非時)	改悔批判	御影堂	勤行	15:30～	初夜	
	重誓偈 正信偈	重誓偈 正信偈	重誓偈 正信偈	重誓偈 正信偈	重誓偈 正信偈	重誓偈 正信偈	重誓偈 正信偈		勤行	初夜終了後	日没	
				藤野 和成 師	佐竹 大智 師	中村 啓誠 師	龍田 智教 師	総会所	御絵伝解説	18:15～ 30分間		
	通夜布教 ★E	福間 義朝 師	福間 義朝 師	福間 義朝 師	宮部 誓雅 師	宮部 誓雅 師	宮部 誓雅 師		常例布教	19:00～ 40分間		

2021(令和3)年

御正忌報恩講法要 全日程表

9日 速夜法要～16日 日中法要

《関連行事》

- ★A… 9日(土) 10:10～
第69回 本山成人式 【御影堂】
- ★B… 12日(火) 13:20～
御法楽献詠入選者表彰式 【御影堂】
- ★C… 15日(金) 11:50～
講社懇志進納講並びにご消息ご披露式 【御影堂】
- ★D… 15日(金) 16:00～
御正忌報恩講奉讃演奏会 【聞法会館 3F 多目的ホール】
- ★E… 15日(金) 18:40～22:00
通夜布教 【聞法会館 (1F 総会所・3F 多目的ホール)】

《ご参拝について》

- ・本年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、御影堂内は参拝者数を制限した指定席(椅子席)とし、事前予約の方が優先となります。
- ・当日参拝希望の方は、御影堂前受付テントにて先着順に受付いたしますが、臨時席(モニター中継を行う阿弥陀堂もしくは安穩殿2階)への案内となる場合がございます。
- ・参拝受付時の検温、連絡先登録およびマスク着用ならびに手指のアルコール消毒等、感染症予防対策にご協力ください。

法要行事の様子をインターネット中継いたします。
配信時間外は視聴いただけませんので、
視聴ページの中継日程をご確認ください。

視聴ページ→



2021 (令和3) 年

「御正忌報恩講法要」 境内案内図

(時間変更の場合もあります)



龍谷大学
大宮学舎
本館

●10~15日
お斎会場 (P.14)

●受付 お斎 (P.14)
帰敬式
免物
懇志
永代経

- 法要 晨朝 (6時)
日中 (10時)
速夜 (14時)
初夜 (15時30分※15日は18時)
- 9日 本山成人式
- 12日 御法楽献詠入選者表彰式
- 15日 講社懇志進納講並びにご消息ご披露式
- 15日 ご門主様ご親教(速夜法要に引き続き)
- 御堂布教 (P.13)
- 帰敬式

- 矯正展〈キャビック展〉
- 被災地支援物産展
- 宗門社会活動展
- ほっとはあとショップ

●全国児童生徒作品展

北境内地駐車場

- 1F 15日 (17時~19時)
ほっとはあとショップ
- 1F 人権パネル展
- 1F 聞法会館写真コンクール
- 1F 矯正展〈キャビック展〉
- 3F 15日 奉讃演奏会 (P.22)
- 3F 15日 (18時40分~22時)
通夜布教 (P.22)

聞法会館
(1F 総会所)

- 常例布教 (P.13)
- 9~12日 (18時15分)
御絵伝解説
- 11~15日 (11時10分)
特別講演
- 15日 (18時40分~22時)
通夜布教 (P.22)

参拝 (事前予約・
当日申込) の方は、
必ずここで受付を
お願いします。

●「子どもたちの
笑顔のために募金」ブース

- ♥ = AED (自動体外式除細動器) 設置場所
 - ♿ = 車椅子対応エレベーター
 - ♂ = オストメイト対応トイレ (多目的トイレ)
 - 👶 = 授乳室
 - 🍽️ = 喫茶・食事処
 - ★ = スタンプ
 - 📶 = Wi-Fi電波受信建物
SSID: Wi2_free
 - 🚬 = 喫煙所 (北境内地に1ヵ所)
- ※1 紫雲 8:00~16:30
※2 がんこ 西本願寺別邸 (B1F)
7:00~9:00
11:00~14:00
17:30~21:00
※15日のみ 7:00~9:00
11:00~22:00

企画展

ほとけと神々大集合
—岡山・宗教美術の名宝—
10:00~17:00 (受付~16:30)
※原則としてオンライン予約が必要

龍谷ミュージアム

伝道第三本部

御正忌報恩講法要(日程)

9日

土

開門 5:30 閉門 17:00

帰敬式(御影堂)

午前 晨朝後 午後 13:00

13時30分頃 御堂布教

御影堂

14時00分 速夜法要

大師影供作法

御影堂

15時30分 初夜〔改悔批判〕

御影堂

(約25分)

☆18時15分 (約30分)

御絵伝解説〔第一幅〕

P.29

總會所

19時00分 常例布教

總會所

●常例布教〈總會所〉

8:10～ 20分間

19:00～ 40分間

※15日は通夜布教

●御堂布教〈御影堂〉

9:30頃～ 15分間

13:30頃～ 15分間

12日午後 16日午前
9日午後 12日午前

福岡 義朝 師
備後教区世羅組教寺

宮部 誓雅 師
大阪教区島中南組誓覚寺

経文については、本冊子37～95ページをご参照ください。また、〈約〇分〉は目安としてご参考ください。

改悔批判

※13日は御伝記拝読のためおこないません。

改悔批判とは、ご門主様が信心(安心)の正否を批判(判断)する儀式です。

本願寺第八代蓮如上人のころ、報恩講中の毎夜、篤信の僧侶・門徒が各自の信仰を告白し、批判を仰いだことにはじまるものです。

現在は、9日は初夜に、10、11、12、14、15日は初夜のお勤めに引き続き、改悔批判をおこなっております。今年の与奪者は北塔光陸勧学です。

要申込

お斎

とき 1月10日(日)～15日(金)

〔1回目〕日中法要後(11時頃)〔2回目〕12時

※定員1回につき60名超過の場合、3回目(13時)をおこないます

※10日は12時30分のみ

ところ 書院(鴻之間) 全席椅子席



・お一人様につき一万円以上のご懇志に対するお扱いとなります。

仏教では、午前十時から正午までの間に食事をする習わしがあり、このときの料理を『斎』といいます。本願寺では、毎年一月十日から十五日まで、日中法要後にお斎の接待を国宝の書院(鴻之間)にておこなっています。

本年は、机一台に一名の配席(例年の約半数)として十分な間隔を開け、長年受け継がれてきた「五菜」を盛り込んだ松花堂弁当と温かいお汁、ほうじ茶、みかん、お菓子(鞍掛饅頭)をご用意いたします。なお、酒・赤飯はお土産としてお持ち帰りください。

お申込みについては、参拝教化部までおたずねください。

担当部 参拝教化部〈龍虎殿1階〉 ※以下ページ担当部は で表記

10日

開門 5:00 閉門 17:00

帰敬式 (御影堂)

午前 晨朝後 午後 13:00

6時00分	晨朝	御影堂
8時10分	常例布教	總會所
9時30分頃	御堂布教	御影堂
10時00分	日中法要	御影堂
(約35分)	二門偈作法	
13時30分頃	御堂布教	御影堂
14時00分	速夜法要	御影堂
(約35分)	奉讃大師作法	
15時30分	初夜〔正信偈〕	御影堂
(約60分)	引き続き改悔批判	
☆18時15分	御絵伝解説〔第二幅〕	總會所
(約30分)	P.31	
19時00分	常例布教	總會所

☆御絵伝解説
— 御絵伝に見る親鸞聖人のご生涯 —
總會所の大型スクリーンに映写した「御絵伝」を、布教研究専従職員が四夜連続して場面ごとに解説いたします。
絵の中に描かれた宗祖親鸞聖人のご生涯を紐解いてゆく中に、ご遺徳を偲ばせていただきますよう。

※併せて28〜36ページもご参照ください。

※本年は椅子席



参拝教化部

と き ● 1月9日(土)～12日(火) 18時15分
ところ ● 聞法会館1階 總會所

講 師
〈第一幅〉 9日(土) 龍田智教 (愛媛県)
〈第二幅〉 10日(日) 中村啓誠 (広島県)
〈第三幅〉 11日(月祝) 佐竹大智 (大阪府)
〈第四幅〉 12日(火) 藤野和成 (三重県)

11日

月・祝

開門 5:00 閉門 17:00

帰敬式 (御影堂)

午前 晨朝後 午後 13:00

6時00分	晨朝	御影堂
8時10分	常例布教	總會所
9時30分頃	御堂布教	御影堂
10時00分	日中法要	御影堂
(約35分)	宗祖讃仰作法	
11時10分	特別講演	總會所
13時30分頃	御堂布教	御影堂
14時00分	速夜法要	御影堂
(約30分)	正信念佛偈作法 第三種	
15時30分	初夜〔正信偈〕	御影堂
(約60分)	引き続き改悔批判	
☆18時15分	御絵伝解説〔第三幅〕	總會所
(約30分)	P.33	
19時00分	常例布教	總會所

ものみな金色に輝く



勸学寮頭 徳永一道 師

11:10～11:50
特別講演

12日

火

開門 5:00 閉門 17:00

帰敬式 (御影堂)

午前 晨朝後 午後 13:00

6時00分	晨朝	御影堂
8時10分	常例布教	總會所
9時30分頃	御堂布教	御影堂
10時00分 (約35分)	日中法要 奉讃大師作法	御影堂
11時10分	特別講演	總會所
★13時20分	御法楽献詠入選者表彰式	御影堂
13時30分頃	御堂布教	御影堂
14時00分 (約35分)	逮夜法要 浄土法事讃作法	御影堂
15時30分 (約60分)	初夜「正信偈」引き続き改悔批判	御影堂
☆18時15分 (約30分)	御絵伝解説 (第四幅) P.35	總會所
19時00分	常例布教	總會所

11:10~11:50
特別講演

言葉のはたらき



本願寺派布教使
坂上晃順 師

★御法楽献詠

聞法の慶びを和歌に詠む御法楽献詠は、毎年兼題を定め、僧侶・寺族・門信徒の方がたから広く歌を募っております。

本年の兼題は「夜明け」とし、全国より寄せられた百四十一首の中から次ページの五首が入選いたしました。

御法楽献詠入選歌

令和3年

兼題

夜明け

講評

宗派月刊誌「大乘」歌壇選者

喜多

弘樹

さはやかな夜明けとなりて御正忌のお念仏の声み堂にひび交ふ

大分県 後藤信子

【評】冬の凜とした空気をやわらげるようにみ堂からお念仏の声が響きあっています。今日は御正忌。親鸞聖人のご遺徳をしのぶにふさわしい、さわやかな夜明けです。

夜明け近く隣家の雨戸ゆるやかにあく音のして称名聞こゆる

岐阜県 織田宗卯

【評】夜明け近くになって隣の家の雨戸がゆるやかに開く音がしました。雨戸の開く音とともに漏れ聞こえてきた称名の澄んだ声。身も心もすがすがしい朝の情景。

病む母に法話を聞きて伝へむと
夜明けを待ちて田に出でし父

熊本県 村田タエ子

【評】熱心にご聴聞を重ねておられた父。病臥の床にある母に早く法話を聞かせたいと、夜明けを待って田で一仕事、そしてお寺へ。やさしく仲のいい両親の姿。

夜明けまで仏書を読みし事もあり
祖師の遺徳に心ひかれて

福岡県 越路晃照

【評】親鸞聖人の書き記した書物を夜が明けるまで夢中で読み続けた日。そのなつかしい記憶が今もなお続いていることでしょう。祖師の遺徳に改めて謝しつつ。

コロナ禍の今こそ深む弥陀の慈悲
夜明けの仏間に正信偈誦す

埼玉県 竹園末子

【評】世の中が苦しめられたコロナ禍、こんな時ほど弥陀の慈悲により深く心を澄ませるもの。静まった夜明けの仏間に一人お念仏申す作者が目に見えそうです。

13日

水

開門 5:00 閉門 17:30

帰敬式 (御影堂)

午前 晨朝後 午後 13:00

6時00分	晨朝	御影堂
8時10分	常例布教	総会所
9時30分頃	御堂布教	御影堂
10時00分	日中法要 二門偈作法	御影堂
11時10分	特別講演	総会所
13時30分頃	御堂布教	御影堂
14時00分	逮夜法要 宗祖讃仰作法(音楽法要)	御影堂
15時30分	初夜〔正信偈 引き続き御伝記拝読〕	御影堂
19時00分	常例布教	総会所

11:10~11:50
特別講演

阿弥陀さまは今ここに



本願寺派布教使
津守秀憲 師

開門 5:00 閉門 17:00

帰敬式 (御影堂)

午前 晨朝後 午後 13:00

6時00分	晨朝	御影堂
8時10分	常例布教	総会所
9時30分頃	御堂布教	御影堂
10時00分	日中法要 正信念佛偈作法 第三種	御影堂
11時10分	特別講演	総会所
13時30分頃	御堂布教	御影堂
14時00分	逮夜法要 御俗姓拝読 大師影供作法	御影堂
15時30分	初夜〔正信偈 引き続き改悔批判〕	御影堂
19時00分	常例布教	総会所

11:10~11:50
特別講演

如来の作願をたづねれば



本願寺派布教使
園淵龍雨 師

『御伝記(御伝鈔)』と『御絵伝』

本願寺第三代覚如上人は、親鸞聖人のご遺徳を讃仰するために、その生涯の行蹟を文章と絵で交互に描いた絵巻物をつくられました。『善信聖人親鸞伝絵』あるいは『本願寺聖人親鸞伝絵』などと呼ばれています。

後に多くのご門徒の方がたにご覧いただけるようにと、文章と絵は別々に分けられ、それぞれ『御伝鈔』『御絵伝』と呼ばれ、流布するようになりました。阿弥陀堂内陣修復中の御正忌報恩講では、この『御絵伝』(四幅)を御影堂の南余間にお掛けし、一月十三日に『御伝記』を拝読して宗祖のご生涯を偲ばせていただきます。

※本山では『御伝記』、一般には『御伝鈔』と呼びます。

御俗姓

御俗姓は『俗姓の御文』とも呼ばれ、本願寺第八代蓮如上人が一四七七(文明九)年に親鸞聖人の御正忌報恩講に際してお書きになった御文章です。

前文では宗祖の俗姓を明かし、行蹟を述べられ、後文では報恩講における門徒の心得が説かれ、一念帰命の真実信心を勧められています。

15日

金

開門 5:00 閉門 19:30

帰敬式 (御影堂)

午前 晨朝後 午後 13:00

6時00分	晨朝	御影堂
8時10分	常例布教	總會所
9時30分頃	御堂布教	御影堂
10時00分	日中法要	御影堂
(約35分)		
11時10分	特別講演	總會所
手話通訳		
11時50分	講社懇志進納講並びにご消息ご披露式	御影堂
13時30分頃	御堂布教	御影堂
手話通訳		
14時00分	速夜法要	御影堂
手話通訳		
引き続き	ご門主様ご親教	御影堂
手話通訳		

★16時00分	奉讃演奏会 (17時30分終了予定)	聞法会館
★18時00分	初夜 [正信偈]	御影堂
(約60分)		
★18時40分	通夜布教 (〜22時)	聞法会館
(2会場)		

11:10~11:50
特別講演

遇 (まうあふ)



本願寺派布教使
山口紫紀師

とき ● 1月15日(金) 11時50分
ところ ● 御影堂



講社ホームページを随時更新中です。歴史や年間行事など幅広く紹介しております。
<http://kousha.hongwanji.or.jp>



参拝教化部

★講社懇志進納講並びにご消息ご披露式

本願寺に対し物心両面にわたりご尽力いただいている本願寺全国講社連絡会の各講社より、一年間に進納のあった進納品並びに懇志進納額が読みあげられ、目録進呈後、一九六五(昭和四十)年に本願寺第二十三代勝如上人が発布された「講社への消息」が披露されます。

16日

土

開門 5:00
閉門 17:00

6時00分	晨朝	御影堂
9時30分頃	御堂布教	御影堂
10時00分	日中法要	御影堂
(約65分)		
13時30分	帰敬式	御影堂
14時00分	常例布教	總會所

※午前の帰敬式は行われません

合唱とアコーディオンによる仏教讃歌の調べをお楽しみください

プログラム

声/しんらんさま/弥陀大悲の誓願を/みほとけのおすがた 他
※曲目は都合により変更となる場合があります

第1部・第3部

本願寺合唱団 (指揮・鈴木捺香子)

第2部(ゲスト)

若林充(acco)&緒勝涼子(pf,acco)

とき ● 1月15日(金)

16時 [開場 15時30分]

ところ ● 聞法会館 3階多目的ホール
(入場無料・80席・先着順)



※新型コロナウイルス感染防止対策を講じて開催いたします。

演奏会の詳細・ライブ配信はこちら→

浄土真宗本願寺派総合研究所



★御正忌報恩講 奉讃演奏会 2021

―通夜布教前のひとときを 仏教讃歌とともに―

★つやぶきょう 通夜布教

とき ● 1月15日(金) 18時40分 ところ ● 聞法会館 (2会場) (1階・總會所および3階・多目的ホール)

總會所 (聞法会館1階) [60席]	タイムテーブル	多目的ホール (聞法会館3階) [80席]
開会・勤行(重誓偈)	18:40~18:55	開会・勤行(重誓偈)
荒井 常昭 北海道教区 胆振組 西教寺	19:00~19:30	木山 景星 長崎教区 諫早組 真楽寺
加藤 純幸 (幸子) 東海教区 中勢組 専念寺	19:30~20:00	宮武 大悟 安芸教区 広陵西組 西念寺
休憩〈換気〉	20:00~20:10	休憩〈換気〉
花岡 樹流 (尚樹) 奈良教区 吉野北組 淨迎寺	20:10~20:40	安徳 剛典 大阪教区 西淀川組 養善寺
田中 明融 (博明) 山口教区 下関組 願久寺	20:40~21:10	日下 賢城 石川教区 江南組 恩栄寺
休憩〈換気〉	21:10~21:20	休憩〈換気〉
吉弘 了暁 (了暁) 福岡教区 柳川組 長善寺	21:20~21:50	小山 昭真 (昭真) 東北教区 秋田組 正念寺
閉会 (22:00閉場予定)		

モニター中継およびインターネット中継を行います ※中継会場・研修室①[70席]・研修室③[30席]
※受付時の検温、連絡先登録およびマスク着用ならびに手指のアルコール消毒等、感染症予防対策にご協力ください。

公開講座		間 法 会 館		白洲特設テントエリア				伝道本部		お茶所		スタンプ ラリー	
展 示		販 売				販 売		展 示					
11 第14回 本願寺史料研究所公開講座	10 人権パネル展	9 第3回 間法会館写真コンクール	8 通夜布教書籍頒布	7 矯正展（キャピック展） （2会場）	6 ほっとはあとショップ 〜結ぶ絆から、広がるご縁へ〜	御正忌報恩講 法要期間中の 関連行事		5 被災地支援物産展	4 宗門社会活動展	3 第64回 全国児童生徒作品展	2 子どもたちの笑顔のために募金	1 「西本願寺ブランドツリーリング」 「真宗十派本山報恩講法要巡り」	
オンライン配信	テーマ「新型コロナウイルス感染症と偏見・差別」	テーマ「結ぶ絆から、広がるご縁へ」		14:00 〜 17:00	11:00 〜 16:00	9日 (土)	12:00 〜 16:30	12:00 〜 16:00			13:30 〜 15:30	スタンプ設置場所…お茶所・龍虎殿	
				10:00 〜 17:00	9:30 〜 16:00	10日 (日)	9:30 〜 16:30	9:30 〜 16:00			9:30 〜 15:30		
						11日 (月・祝)							
						12日 (火)							
						13日 (水)							
						14日 (木)							
						15日 (金)							
						16日 (土)	9:30 〜 12:30	9:30 〜 12:00			9:30 〜 11:30		

- 9日・ワークセンターHalle！（バウムクーヘン、焼き菓子）・テンダーハウス（燻製醤油、焼き菓子、織製品、陶器）
 10日・かしの木学園（総菜/パン、菓子/パン、食卓/パン、陶器、縫製品）・なづな学園（焼き菓子、陶器、縫製品）
 11日・ジョイント・ほっと（焼き菓子、パウンドケーキ）
 ・ワークショップ友愛印刷（一筆箋、メモ帳、染め手ぬぐい、染めガーゼハンカチ）
 12日・あおい苑（焼き菓子、パウンドケーキ、シフォンケーキ、雑貨）・プティパ（アクセサリ、雑貨）
 13日・第三かめおか作業所（焼き菓子、焼きあられ、野菜チップス、お味噌、雑貨）
 14日・西寺育成院（パン、焼き菓子）・西陣工房（マスク、ショール、ストール、トートバッグ）
 15日・しあわせネット・勇気（おからほっぺくおからのかりんとう）、お干菓子
 ・かしの木学園（総菜/パン、菓子/パン、食卓/パン、陶器、縫製品）
 16日・京都ふれあい工房（焼き菓子、パウンドケーキ、シフォンケーキ、箸袋）・ワークスタジオ伏見（伏見産の旬野菜）

法要期間中 間法会館地下1階マルチスペースにて飲食可能

販売

6 ほっとはあとショップ
〜結ぶ絆から、広がるご縁へ〜

本年も「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）推進の一環として、障がいのある人たちが中心となって製作した「ほっとはあと製品」を販売するショップを出店いたします。お店には、おいしいパンやお菓子、生活雑貨等が日替わりで並びますので、皆さまのお越しをお待ちしております。

販売

5 被災地支援物産展

二〇一一年三月十一日、東日本大震災が発生。今年の三月で十年を迎えますが、復興への歩みが進みつつある中、震災被害の風化が危惧されています。被災地では東京電力福島第一原子力発電所事故の影響などにより、全国に散らばる避難者はなお約四万七千人にのぼり、未だに様々な困難を抱えています。また、昨年は九州地方を中心とした大規模な水害が発生し、多くの方が被害に遭われました。宗門といたしましては、被災地及び被災者支援の取り組みといたしまして、阿弥陀堂前白洲テントにて、被災各県の物産展を開催します。

募金

2 子どもたちの笑顔のために募金



宗派では「子どもたちの笑顔のために募金」を進めています。ご参拝の折にお寺などで集められた募金をブース（お茶所内）までお持ちください。ご持参の際には記念品をお渡しいたします。



主催：特定非営利活動法人 京都ほっとはあとセンター
 ※障がいのある人たちの自立と社会参加を図ることを目的に、京都府・京都市・府内の授産施設や共同作業所が合同で設立した団体です。

後援：浄土真宗本願寺派 重点プロジェクト推進室

日時 法要期間中 9時30分～16時
 ※9日は11時から、16日は14時まで
 場所 白洲特設テント
 ※15日（金）のみ17時～19時は
 間法会館1階ロビー（和室前）でパン販売

重点プロジェクト推進室

日時 法要期間中 9時30分～15時30分
 ※9日は13時30分から、
 16日は11時30分まで
 場所 お茶所内

重点プロジェクト推進室

日時 法要期間中 9時30分～16時30分
 ※9日は12時から、16日は12時30分まで
 場所 白洲特設テント（売り切れ次第終了）

社会部（災害対策担当）

展示 10 人権パネル展

人権週間（十二月四日～十日）

より御正忌報恩講までおよそ四十日間を縁として、宗派が推進する「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）の具体的な取り組みのひとつとして開催しております。

まったく未知の、新型コロナウイルス感染症という脅威がわが身に迫るなか、不安と恐怖におびえる一方で、私たちはさまざまな偏見や差別等、心無い行動をしていないでしょうか？

今回は、『新型コロナウイルス感染症と偏見・差別』をテーマにしています。すべての人びとが自分ともに心豊かに生きることができるようコロナ禍における学びを深めましょう。



日時 人権週間（12月4日（金）～1月16日（土））
場所 聞法会館 1 階ロビー

社会部（人権問題担当）

展示 第64回 全国児童生徒作品展

本作品展は、「絵画の部」「書の部」「作文の部」の三部門からなり、全国の幼児、小・中学生から、毎年多くの作品を出品いただいております。

今回は、伝道本部東棟一階ロビーにて入賞作品を展示しております。全国の子どもたちから応募された力作を是非ご覧ください。



日時 法要期間中 **場所** 伝道本部東棟1階ロビー

寺院活動支援部（組織教化担当）

展示 第3回 聞法会館写真コンクール

宗門の重点プロジェクトのスローガンである「『結ぶ絆から、広がる縁へ』」をテーマとした写真展です。全国の皆さまからご応募いただいたこころ温まる作品をご鑑賞ください。

日時 法要期間中 **場所** 聞法会館 1 階 総会所横廊下

聞法会館

展示 4 宗門社会活動展

社会部（社会事業担当）では、仏教と医療・福祉が連携する「ビハール活動」をはじめ、矯正教化、更生保護事業など、様々な活動を推進しております。また、本年度より、浄土真宗本願寺派全国児童養護施設連絡協議会（全養本派クラブ）協力のもと、「こども虐待防止」のシンボルマークである「オレンジリボン運動」の啓発にも取り組んでおります。

広く社会に向けた活動をご紹介しますので、ぜひお立ち寄りください。



日時 法要期間中 9時30分～16時
※9日は12時から、16日は12時まで
場所 白洲特設テント

社会部（社会事業担当）

展示 7 矯正展（キャピック展）

宗門所属の教誨師・篤志面接委員（約三六〇名）が全国の刑務所や少年院等において教化伝道および、社会貢献の一環として宗教教誨や面接活動を実施しています。その被収容者の社会復帰に備え、施設職員の指導のもと、各施設内の工場等で刑務作業を実施しております。そこで制作される刑務所作業用品（家具・靴・伝統工芸品など心をこめた逸品）の展示販売会をおこなっていますので、ぜひお立ち寄りください。



主催：（公財）刑務作業協力事業部/
浄土真宗本願寺派/
浄土真宗本願寺派矯正教化連盟
後援：京都刑務所
協賛：刑務作業協賛業者

日時 法要期間中 10時～17時
※9日は14時から、16日は14時まで
場所 白洲特設テントおよび
聞法会館 1 階 和室（2会場）

社会部（社会事業担当）

スタンプ
ラリー

1

『西本願寺グランドツリーリング』 (全国別院巡拝スタンプラリー) 『真宗十派本山報恩講法要巡り』

宗門では、全国にある別院や教堂の報恩講スタンプラリーを実施しています。また、真宗教団連合においても、真宗十派本山の報恩講法要巡り（スタンプラリー）を実施しています。お茶所・安穩殿・龍虎殿にてスタンプ帳を配布しておりますので、是非お立ち寄りください。



グランドツリーリング 真宗十派

重点プロジェクト
推進室

真宗教団連合
(所務部〈文書担当〉)

販売

8

通夜布教書籍頒布

本願寺出版社が発行している書籍・グッズの頒布をいたします。御正忌報恩講法要期間中、四千円以上お買い上げの方にはオリジナルエコバッグを進呈いたします（先着順）。是非お立ち寄りください。

公開講座

11

第14回 本願寺史料研究所公開講座

例年は東京・京都の二会場で開催している公開講座。このたびは期間限定でオンライン配信いたします。

【あいさつ】 赤松徹眞（本願寺史料研究所長）

【第一部】 岡村喜史（本願寺史料研究所研究員） 約五十分

「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年に向けて
親鸞聖人の誕生と日野の地・日野誕生院の成立まで」

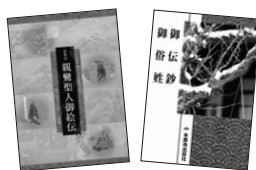
【第二部】 小林健太（本願寺史料研究所研究助手） 約五十分
「幕末期の本願寺と『勤王僧』と広如上人と超然・月性」



視聴はこちら

法要期間中
オンライン配信＜無料＞

所務部〈文書担当〉



オリジナル
エコバッグ

本願寺ブックセンター（安穩殿1階）

法要期間中 9時～17時 ※16日は8時から

日時 1月15日（金）14時30分～22時15分

場所 聞法会館1階 特設ブース

本願寺出版社

親鸞聖人のご生涯

（御絵伝解説）

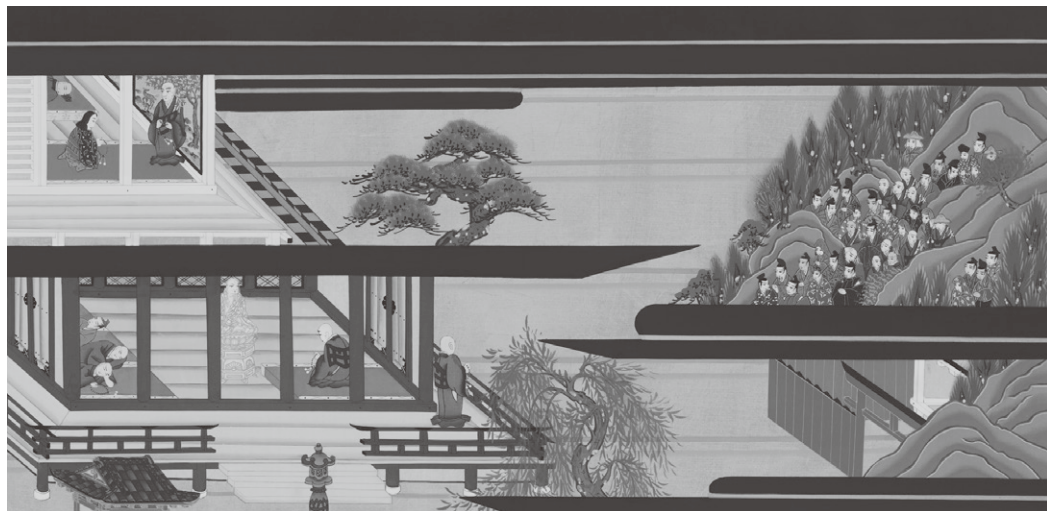
親鸞聖人のご生涯をまとめた絵物語を『御絵伝』といいます。

聖人のひ孫にあたる本願寺第三代覚如上人が、聖人の三十三回忌の翌年にそのご生涯を讃仰するために書かれた、『本願寺聖人親鸞伝絵』（絵巻物）を元にしています。

後にこの『親鸞伝絵』が、文章の部分『御伝記』と、絵の部分『御絵伝』に分けられ、江戸時代になってからは、一般のお寺でも、報恩講（聖人のご命日法要）の際には、『御絵伝』が奉懸され、『御伝鈔』が拝読され、広くご門徒に親しまれるようになりました。

『御絵伝』は、八幅や六幅で描かれているものもありますが、主にお寺で奉懸されるのは、四幅や二幅で描かれているものです。

この『御絵伝』（29～36ページ）は、平成二十三年（二〇二一年）にお迎えした親鸞聖人七百五十回大遠忌法要を記念して、江戸時代の初めから四百年間、お寺や仏壇に奉懸する掛軸を手掛けてきた繪表所より寄進された、二幅の『御絵伝』を軸の表装から八面の額表装へ改装したもので、龍虎殿一階ロビーにて常時ご覧いただけます。



【出家学道】

(下段・上段左)

承安三年(一一七三年)、今の京都市伏見区日野にお生まれになった親鸞聖人は、治承五年(一一八一年)、御年九歳で、伯父の日野範綱卿に伴われ京都市東山区の慈円和尚(慈鎮和尚)の坊舎(白川房)で、僧侶となる儀式(お得度)を受け出家されました。

夜も近いから、明日来るようにと一旦断りましたが、聖人は「明日ありと 思う心の仇桜 夜半に嵐の吹かぬものは」と歌を詠まれ、その日の出家を許されます。この後聖人は、範宴と名乗られました。

各場面には、咲き誇るその桜、上段左には、白川房の慈円和尚が見守る中、紙燭で手元を照らしながら、剃髪する(髪を剃る)様子が描かれています。

【吉水入室】

(上段右)

建仁元年(一一〇一年)、二十九歳とられた聖人は、頂法寺(六角堂)の参籠を経て、源空聖人(法然聖人)のもとを訪ねます。聖人が白い衣と袈裟を着けて、源空聖人のもとを訪れている様子が描かれています。

【六角夢想】

(下段・上段右)

親鸞聖人は二十九歳の時比叡山を下りられ、京都市中京区の頂法寺(六角堂)に百日間の参籠をされます。

この絵は、その九十五日目の明け方に聖人が見られた夢の様子が描かれています。

この夢を見られた聖人は源空聖人(法然聖人)のもとを訪ねるご決意をされ、お弟子になられます。

聖人は、お堂の左端で横になっているお姿と、頂法寺のご本尊、救世観音に礼拝されているお姿、東(右)を見られているお姿で描かれています。

【蓮位夢想】

(上段左)

この場面は、親鸞聖人八十四歳の頃に話をうつし、建長八年(一二五六年)、蓮位という聖人のお弟子が見た夢の様子が描かれています。蓮位は上段左上、眠っている姿で描かれています。

その夢は、聖徳太子が聖人に向かって礼拝されていたという内容でした。このことによって、聖人が阿弥陀如来の化身であることが伝えられています。



【選択付属】

親鸞聖人が、源空聖人（法然聖人）から許されて、『選択付属』と源空聖人の絵像を授かっている場面です。聖人はその主著『顕浄土真実教行証文類』の後序で、

元久乙丑の歳（元久二年「一二〇五年」、恩恕（お許し）を蒙りて（受けて）『選択』（選択集）を書しき。

同じき年の初夏中旬第四日（陰暦四月十四日）に、

「選択本願念仏集」の内題の字（書物の題名）、

ならびに「南無阿弥陀仏 往生之業 念仏為本」と

「釈綽空」の字と、空（源空聖人）法然聖人の真筆（直筆）をもつて、これを書かしたまひき（書いてくださった）。

同じき日、空（源空聖人）の真影（絵像）申し預かりて、図画したてまつる。

と思ひ起こされています。

【信行両座】（下段）

ある時親鸞聖人が、「お浄土へ行くことは、ご信心で決まるか、念仏の行をばげむことで決まるか」お弟子たちに確認した

いと、源空聖人（法然聖人）に相談しました（下段右）。

「ご信心でお浄土へ行くことが決まる」という場所には、はたして数人のお弟子と聖人、駆け付けた法力房（熊谷直実、最後に源空聖人が座りました（下段左）。

【信心諍論】（上段右）

ある時親鸞聖人が、「源空聖人のご信心と、わたしのご信心は同じです」と話し、お弟子たちに厳しく咎められました。源空聖人は、「ご信心は、阿弥陀如来から賜るもの。同じだから同じお浄土へ行けます」と仰った様子が描かれています。

【入西鑑察】（上段左）

時代は変わって、親鸞聖人七十歳の頃お弟子の入西が、聖人に絵姿をお願いするより先に、聖人がその気持ちを探して、「定禅」という絵師に描いてもらおうといひ」と言われました（右）。定禅は、「夢の中で描いた生身の阿弥陀如来である僧侶こそ、親鸞聖人でした」と感動の涙を流しながらお姿を描かれました（左）。



【念仏禁止】 (下段右)

お念仏の教えが弘まるにつれ、それまでの仏教諸宗との摩擦が起こるようになり、仏教諸宗から朝廷へ、念仏停止の申し出が奏上されるようになります。笏を持った公卿が、門の前に奏上に訪れている様子が描かれています。

【公卿僉議】 (下段左)

念仏停止の申し出を受けて、御所の仁寿殿で行われた僉議の様子が描かれています。

そして承元元年(一二〇七年)念仏停止が決定し、住蓮・安楽など四人が死罪、八人の流罪が決定します。源空聖人(法然聖人)は土佐国(実際には讃岐国)、親鸞聖人は越後国国府へ還俗(僧侶の身分の剥奪)の上、流罪となりました。

【師資遷謫】 (上段)

承元元年旧暦三月、源空聖人が旅立たれるところ(上段左)と、親鸞聖人が旅立たれるところ(上段右)です。源空聖人七十五歳、聖人三十五歳、この日を最後にお二人はこの世で再会することはありませんでした。

【稲田興法】 (下段)

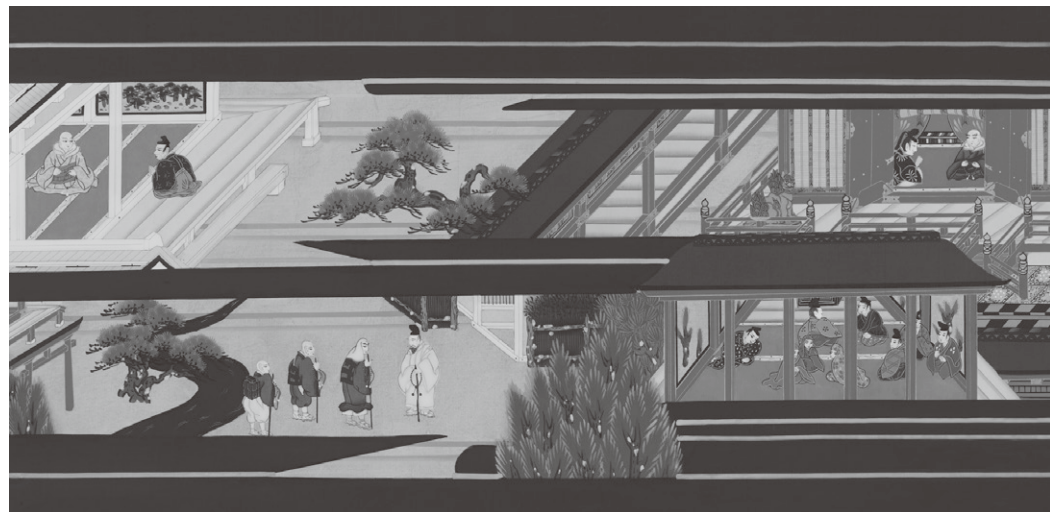
建暦元年(一二二一年)、親鸞聖人三十九歳の時、流罪の赦免がくだされ、源空聖人(法然聖人)は赦免の翌年、京都で往生されます。

聖人の元にもご往生の事は伝えられたと考えられますが、京都へは戻られずに関東へ向かわれ(下段右)、やがて今の茨城県笠間市稲田に草庵を結ばれ、多くの人が参拝するようになります(下段左)。

【弁円済度】 (上段)

聖人の草庵に多くの人が参拝する様子を快く思わない山伏たちがあらわれ(上段右)、その中の弁円という山伏が、ついに聖人の命を奪わんと草庵に押しかけます。

しかし、聖人の立ち振る舞いをみて、弓矢を折り、刀を捨てて弟子になりたいと申し出て、聖人から明法房という名を授けられました(上段左)。



箱根霊告

(下段左)

親鸞聖人が関東に住まわれてからおおよそ二十年、聖人は京都へ帰られます。その道中、一行が箱根を通りかかったところ、烏帽子を被り衣を整えた箱根神社の宮司が出てきて、「箱根権現(神)が今夢に出てきて、尊敬している方が通るのもてなしてほしいと願われたので出てまいりました」と、申し出てきます。一行と宮司が話をしているその様子が描かれています。

熊野霊告

(下段右・上段)

茨城県水戸市飯富(旧大部)に、お念仏を喜ぶ平太郎という者が住んでいました。その平太郎に大部の領主が、和歌山県の熊野神社に参拝するように命じます。

平太郎は、念仏を申す者が、神社に参拝してもいいものかと心配になり、京都の聖人の元を訪ねます(上段左)。聖人は、「阿弥陀如来の誓いに身を任せる者としてお参りすれば、神様を軽んじることはありません」と言われ、平太郎はお念仏しながら熊野神社に参拝します。その夜、眠る平太郎の夢に(下段右)、正装した熊野権現(神)と聖人が夢に出てきます(上段右)。

洛陽遷化

(下段・上段左)

親鸞聖人は、弘長二年(一二六二年)十一月の下旬体調を崩されます。それ以来、世俗のことは何も仰らずに、ただ阿弥陀如来のご恩と、お念仏が絶えることがなかったそうです(下段右)。そして十一月二十八日、今の暦では一二六三年一月十六日のお昼頃、お釈迦様がお亡くなりになった時と同じように、頭を北にして右脇を下に、西を向いて往生されました(下段中央)。御年九十歳でした。

廟堂創立

(上段右)

聖人がご往生されて十年後の文永九年(一二七二年)、京都東山の西側の麓、鳥部野の北、大谷にあった聖人のお墓を吉水の北、今の浄土宗知恩院の北あたりに改葬して、お堂を建てて親鸞聖人のありし日のお木像をご安置されました。このお堂が本願寺の起源で、このお木像こそ今の御影堂にご安置されている御真影さまだと伝わっています。

御正忌報恩講法要期間中の仏華

2021(令和3)年

本願寺の法要行事日程



(御影堂)



御影堂内陣



(御影堂)

元旦会・修正会	1月 1日(金・祝)
第69回本山成人式	1月 9日(土)
御正忌報恩講法要	1月 9日(土)～16日(土)
春季彼岸会	3月17日(水)～23日(火)
〈春の法要〉	4月13日(火)～15日(木)
聖徳太子1400回忌法要	4月13日(火)～14日(水)
立教開宗記念法要	4月15日(木)
誕生会(日野誕生院宗祖降誕会)	5月19日(水)
宗祖降誕会	5月20日(木)～21日(金)
広如忌(角坊)	6月 1日(火)～ 2日(水)
大谷本廟納骨・永代経総追悼法要	6月 5日(土)～ 8日(火)
朝の法座(大谷本廟)	7月20日(火)～22日(木)
孟蘭盆会	8月14日(土)～15日(日)
戦没者追悼法要	8月15日(日)
千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要 (東京・国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑)	9月18日(土)
秋季彼岸会	9月20日(月・祝)～26日(日)
龍谷会(大谷本廟報恩講法要)	10月15日(金)～16日(土)
〈秋の法要〉	11月22日(月)～23日(火・祝)
全国門徒総追悼法要	
御煤払	12月20日(月)
除夜会	12月31日(金)

毎月16日は Shinran's Day (親鸞聖人の日)

親鸞聖人御誕生850年 慶讃法要

Joint Celebration
850th Anniversary of Shinran Shonin's Birth & 800th Anniversary of the Establishment of the Jodo Shinshu Teaching



法要期日

2023(令和5)年

第1期 3月29日(水)～4月3日(月)
第2期 4月10日(月)～4月15日(土)

第3期 4月24日(月)～4月29日(土)
第4期 5月6日(土)～5月11日(木)
第5期 5月16日(火)～5月21日(日)

2021(令和3)年1月9日発行 編集・発行／参拝教化部 印刷／(株)アースワーク

08-1-10-12